

環境活動レポート

対象期間：2019年1月～12月



発行日 令和元年4月1日

改訂日 令和2年3月5日

株式会社 雑用社

1. 組織の概要

(1)事業所名 株式会社雑用社
 (2)代表者 代表取締役 大国谷 一史
 (3)環境管理責任者(問合せ先) 三國 敬太

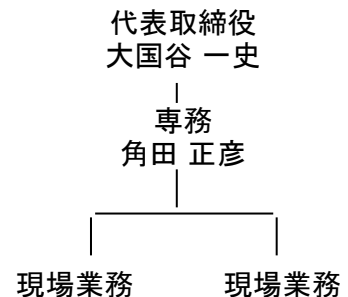
電話: 03-3888-0088 FAX: 03-3888-0083
 e-mail: info@zatuyo.co.jp

(4)所在地 〒120-0025 東京都足立区千住東1-2-5

(5)事業内容

・設立年月日 昭和57年1月10日
 ・売上高 129百万円(平成30年度)
 ・資本金 1千万円
 ・従業員数 23人
 ・延べ床面積 253.65㎡
 ・主なる事業内容

組織図



貨物軽自動車運送事業

廃棄物収集運搬業

一般廃棄物 普通ごみ、廃家電
 産業廃棄物 廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、木くず、繊維くず、紙くず、金属くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物含む)

・許可証、登録証一覧

許可の種類	許可者	許可番号	許可年月日	有効期限
一般廃棄物 収集運搬業	東京二十三区清掃 一部事務組合	第1108	H30. 2/1	R4. 1/31
産業廃棄物 収集運搬業	東京都	第1300045180	H29. 1/31	R4. 1/30
	埼玉県	第01107045180	H30. 5/10	R5. 4/24
	神奈川県	第01402045180	H30. 5/22	R5. 3/25
	千葉県	第1200045180	H30. 1/9	R4. 9/19

・貨物軽自動車運送事業用車両

軽幌 3台
 軽箱 2台
 軽ワゴン 2台
 2t 幌 1台

・営業用車両

乗用車 1台

・廃棄物収集運搬車両

車名	車番	用途
2t ダンプ	足立 400 い 63-74(青ナンバー)	一般廃棄物
2t パッカー	足立 800 い 49-74(青ナンバー)	一般廃棄物
2t アームロール	足立 400 い 63-73(青ナンバー)	産業廃棄物
2t アームロール	足立 400 ま 65-44	産業廃棄物
2t 箱	足立 102 あ 51-60(青ナンバー)	産業廃棄物
軽幌	足立 480 れ 40-92	一般廃棄物

・収集運搬の実績

676 ton (平成30年度)

・収集運搬料金

種類、数量、排出場所や状況により異なります。
フリーダイヤル012-012-8889までお電話ください。
無料でお見積りいたします。

環境方針

株式会社雑用社は一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬業者として以下5つの重点項目を掲げエコアクション2.1に取組み、地球環境問題の改善に努める事を宣言します。

- (1) 車の運転、整備においてはエコ運転、エコ整備を行い
燃費の向上については、二酸化炭素排出量の低減に努めます。
- (2) 事務所の電気、ガス、水道の利用量の削減に努めます。
- (3) 受託した廃棄物からリサイクル可能なものは回収に努めます。
- (4) 購入資材のグリーン購入に努めます。
- ⑤ 環境法規制の遵守のみにとどまらず、進んで清掃活動等を行なう
事で、地域の環境保全に貢献します。

令和2年3月5日
株式会社 雑用社
代表者 大国谷 一史

4. 環境目標と実績

当社の環境負荷を改善へ向けて環境目標を設定した。

活動期間:2019年1月～12月

	単位	基準年 2018年1月～12月 実績値	2019年1月～12月		評価
			目標値	実績値 (削減率or増加率)	
二酸化炭素排出量の削減	kg-co2	60,934	59,715	-2%	×
			63,034	3.45%	
ガソリン使用量の削減	ℓ	10,229	10,024	-2%	×
			11,725	14.63%	
軽油使用量の削減	ℓ	12,711	12,457	-2%	◎
			11,756	-7.51%	
電気使用量の削減	Kwh	7,896	7,738	-2%	×
			10,471	32.61%	
都市ガスの削減	m ³	250	245	-2%	×
			277	10.80%	
排水量の低減	m ³	215	211	-2%	◎
			203	-5.58%	
リサイクルの促進	Ton	24.01	24.49	2%	◎
金属資源回収の促進			24.74	3.04%	
古紙回収の促進	Ton	31.34	31.97	2%	×
			24.49	-21.86%	
化学物質使用量の削減	kg	PRTR 対象物質はありません			
購入資材の グリーン購入率の向上	%	100%	100%	±0%	◎
			100%	±0%	

◎目標達成 △目標未達但し基準年より改善 ×目標未達

業務量増加に伴い各環境負荷値は上昇している。

燃費の改善をより徹底して行うことによって業務対排出費の割合を低く抑える活動が必要となる。

※電力の二酸化炭素排出量は、東京電力平成20年度実排出係数0.418kg-co2/kwhで算出
 ※金属資源回収(34t)古紙回収(40t)は、有価物として取り扱っている。収集運搬前に選別するので、収集・運搬の量には含んでいない。

※グリーン購入に関しては、コピー用紙、養生テープ、ガムテープが主なもの。これらは、全て環境配慮品であった。

中期目標

	単位	基準年	2020年		2021年		2022年	
		2019年	目標値	(削減率or増加率)	目標値	(削減率or増加率)	目標値	(削減率or増加率)
二酸化炭素排出量の削減	kg-co2	63,034	61,773	-2%	60,513	-4%	59,252	-6%
ガソリン使用量の削減	ℓ	11,725	11,491	-2%	11,256	-4%	11,022	-6%
軽油使用量の削減	ℓ	11,756	11,521	-2%	11,286	-4%	11,051	-6%
電気使用量の削減	kwh	10,471	10,262	-2%	10,052	-4%	9,843	-6%
都市ガスの削減	m ³	277	271	-2%	266	-4%	260	-6%
総排水量(または取水量)の削減	m ³	203	199	-2%	195	-4%	191	-6%
リサイクルの促進 金属資源回収の促進	Ton	24.74	25.23	2%	25.48	3%	25.73	4%
古紙回収の促進	Ton	24.49	24.98	2%	25.22	3%	25.47	4%
化学物質使用量の削減	kg	PRTR 対象物質はありません						
購入資材のグリーン購入率の向上	%	100	現状維持		現状維持		現状維持	

5. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度への取組

当社環境活動への理解が浸透し始め、取組がなされた。
次年度に向けてはエコドライブでの教育や社員交流を行い、意識向上を図りたい。

環境目標	取組み	結果	評価	次年度取組
自動車燃料の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブについての勉強会を開く ・渋滞情報の積極的活用 ・アイドリングストップ ・急加速・急停車の防止 ・エアコンの控え目使用 ・各車両の走行距離を集計する ・燃料添加剤 	<p>前年に比べ仕事量が増加したと共に、前年と比べて排気量が増加している。目標値の達成のために、さらなる改善が求められる。</p> <p>また、新人が増えたことによって、交通渋滞の回避が出来ていなかったり、裏道などを知らずナビどおりに高速道路を使ったりで走行距離ものびているのではないかと思います。</p>	△	<p>対策としては、エコドライブに加え、相乗りの励行は引き続き行う。</p> <p>さらに、車体のメンテナンスを定期的に行い、燃費の向上による排気量の削減、道路の混雑状況を逐一調べながらの走行などを心がける。</p> <p>また、裏道や渋滞回避ルートを新人に教える。</p> <p>第二ビルの新設に伴い、業務効率の改善を目標とします。</p>
電力の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正化(暖房20℃、冷房28℃) ・節電シールの貼り付けとポスター掲示 	使用電力が増加した。	△	継続して実施 再度教育を行う
都市ガスの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・シールの貼り付けとポスター掲示 ・冬季は厚着してガストーブの使用を控えめにする。 	使用ガス量が増加した。	△	継続して実施 再度教育を行う
水道水使用量の低減	節水シールの貼り付けとポスター掲示	使用水道水が減少した。	◎	節水、節電のエコアクションについて、新人に教育する。
金属資源回収の促進	金属資源回収を全社員及びアルバイトに呼びかける。	金属製品の回収率が増加している。	◎	継続して実施 再度教育を行う
古紙回収の促進	雑誌、新聞紙などの古紙資源回収を全社員及びアルバイトに呼びかける。	紙製品の消費が減る中で回収率が減少している。	△	継続して実施 再度教育を行う
グリーン購入	コピー用紙を再生紙利用。 ガムテープ、養生テープを増やす。	コピー用紙は、再生用紙を利用した。 ガムテープ、養生テープも環境配慮品を購入した。	◎	継続して実施。

※グリーン購入の対象品目については、増やすことを検討中。

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、訴訟等の有無

主要な法規	確認内容	評価結果
廃棄物の処理と清掃に関する法律	産業廃棄物のマニフェスト管理	確実に実施された。
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書を提出	平成27年5月提出
	契約書確認	問題なし
	保管所技術基準の遵守	対象施設なし。
	事業系一般廃棄物の有料シール貼り付け	確実に実施された。
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	・ディーゼル車の排出ガス規制遵守	問題なし
	・アイドリングストップの励行	問題なし
家電リサイクル法	家電リサイクル券の購入	対象品目
小型家電リサイクル法	リサイクル業者に販売	対象品目
フロン排出抑制法	業務用エアコンは全て簡易点検を3カ月に一回以上行う	対象品目

環境関連法規への違反はありません。なお、関連当局よりの違反等の指摘は、過去三年間ありません。訴訟もありません。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

2019年は前年に続き車両が増えたことで燃料使用量が増加しました。効率よく配車を行うことでムダを省くよう取り組んでまいります。

また、第二ビルの稼働に関して、引き続き効率的な利用改善を行ってまいります。駐車場の有効活用だけでなく、保管品の出し入れなど、スムーズな作業を心がけます。

2019年も新人が増えたため、業務指導と同時にエコアクションへの取り組みを指導していく必要があります。

今後もエコアクション21に継続的に取り組み、環境活動の結果を得るべく努力をしたいと思います。

以上